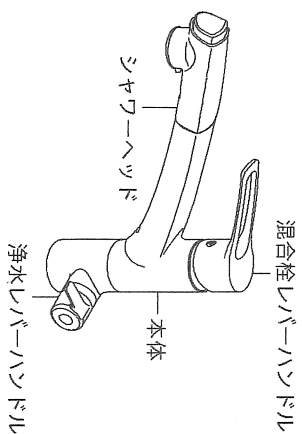


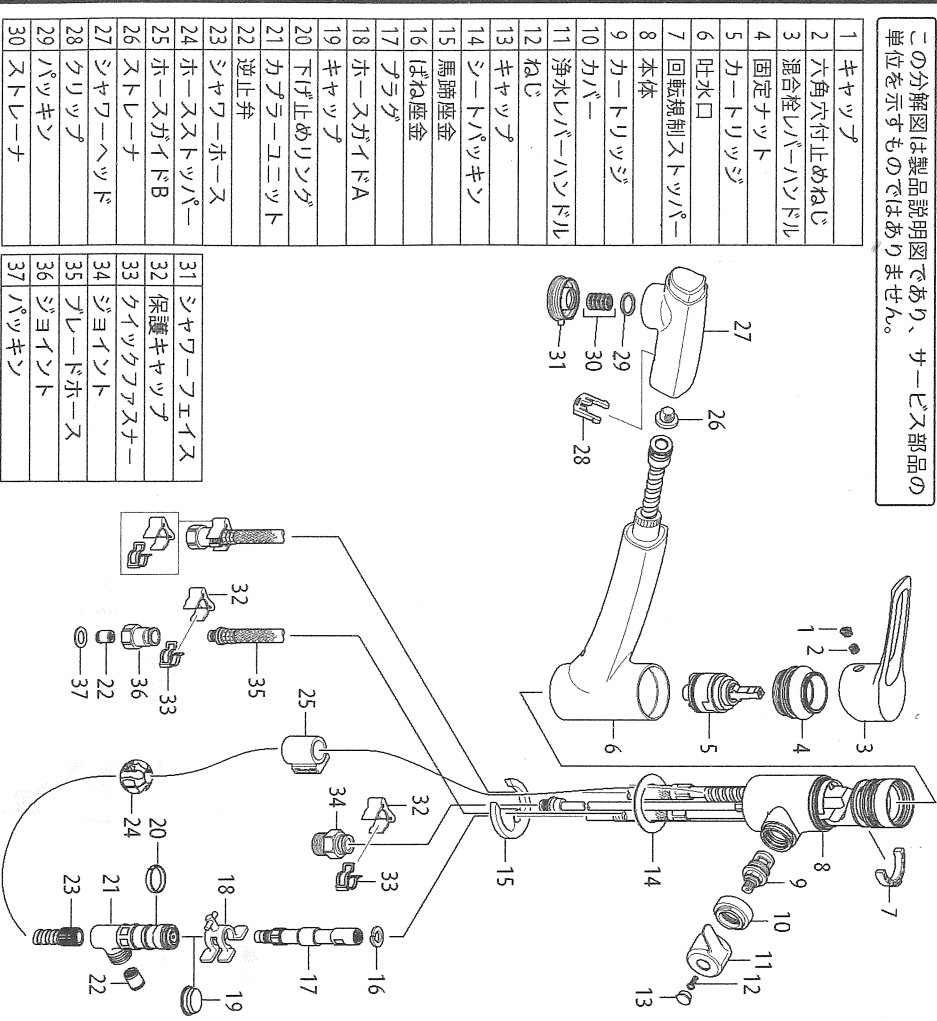
取り付け完成図と各部の名称 / 分解図

取り付け完成図と各部の名称



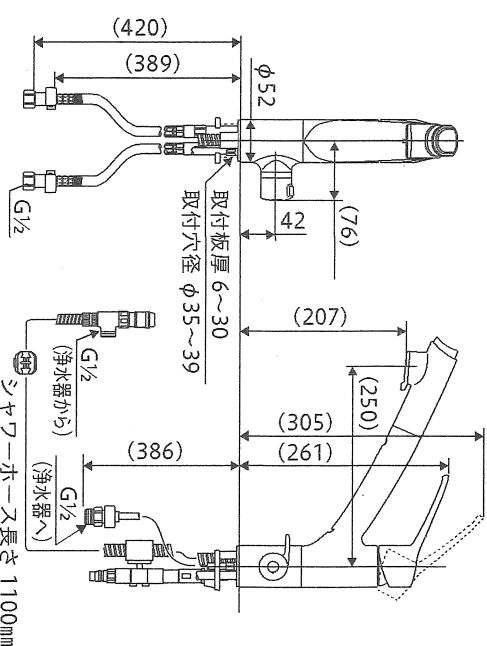
分解図

この分解図は製品説明図であり、サービス部品の単位を示すものではありません。



3 ページ

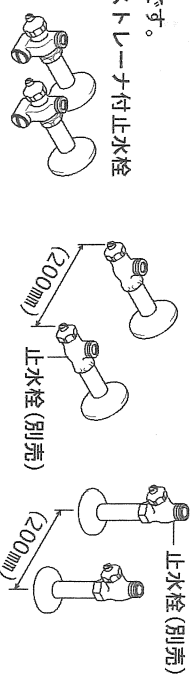
寸法図



取り付け手順 1

1 給水管内の清掃
配管工事後、必ず給湯・給水管内を清掃してください。

2 止水栓 (別売) の取り付け
給湯管と給水管の間隔は200mm程度で取り付けます。水受けタンクまたはトレーを設置する場合は、水受けタンクまたはトレーの寸法をご確認の上取り付けください。
止水栓はストレーナ付が最適です。



3 本体の取り付け位置について
取り付け位置によっては吐水口先端がシンクから飛び出す場合があります。(施工例1)
正面位置をシンク内側へずらして調整することは可能です。(施工例2)
その際、ハンドルの左右中央位置もずれますのでご注意ください。
位置調整は、フレードホースが施工できる範囲で行ってください。
施工例1 (飛び出した例)
施工例2 (正面の角度を内側へずらし)
本体正面方向

4 ページ

取り付け手順 2

4 本体の固定

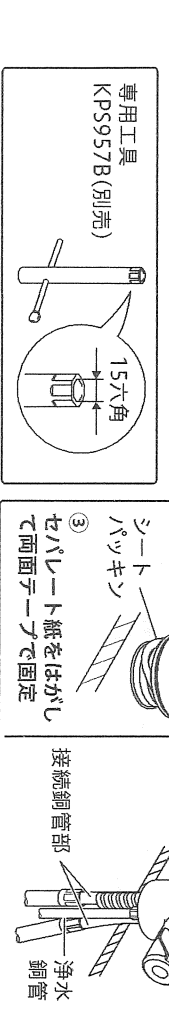
- ① 本体からフラグ、ばね座金、馬蹄座金を取りはずします。
- ② 本体にガイドリソグがはまっていることを確認してください。はずれている場合は、しっかりとめてください。
- ③ 取り付け穴周囲の汚れを取り除いたあと、本体に貼り付けてあるシートパッキン下面のセパレート紙をはがし、工具掛け穴が真後ろにくるように本体を差し込みます。(品番シールは本体左側です。)
- ④ フレードホースの接続銅管部を少し広げ、給水管に平らな面を上に向けた馬蹄座金 (小さい穴側) とばね座金を通し、フラグにて固定します。

【△注意】 フラグは確実に締め付けてください。

- ・厚さ30mmを超える取付板には取り付けられないでください。これよりも厚い板に取り付けた場合、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・セパレート紙は必ずはがしてください。セパレート紙をはがさず固定した場合、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

- ・専用工具G26 (別売) を使用して本体を保持してください。シャワーヘッドやレバーハンドルを持って締め付けますと破損し、漏水のおそれがあります。
- ・フラグの締め付けには専用工具KPS975B (別売) で確実に行ってください。
- ・締め付けトルクの目安は約800~1000N・cmです。

- ・しっかりと締め付けられないと、本体が緩んだり、がたつきが発生し、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。



5 ホースガイドAの取り付け

銅管部を少し広げて同梱のホースガイドAをフラグにはめ込みます。

- 【△注意】 銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

【お願い】 ホースガイドは壁面に固定しないでください。

5 ページ

6 止水栓との接続

- ① ジョイントを止水栓に接続します。

【△注意】

- ・接続は適切な工具 (スパナ等) で締め付けてください。締め付けトルクの目安は約2000N・cmです。
- ・締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。
- ・薄肉の接続管 (ニツアル等) にはジョイントを接続しないでください。
- ・パッキンが切れ、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。
- ・止水栓がしっかりと固定されていることを確認してください。
- ・固定されていないとフレードホースが抜け、漏水の原因となります。

② フレードホースのつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。

【△注意】 ・銅管部を曲げすぎないでください。曲げすぎると銅管部がつぶれて亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。

- ・フレードホースはR60以上の大きな曲げ半径になるように曲げてください。
- ・鋭角に曲げたり、混合栓根元で曲げたりしないでください。(A図)
- ・急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損を起し、漏水して家財などを濡らすおそれがあります。
- ・上下戻り配管はやめてください。(B図)
- ・ウォーターハンマーなどでフレードホースが振動した際、屈曲部からの水漏れ発生の原因となります。
- ・フレードホース同士などへの不要な接触は避けてください。
- ・摩擦による外傷で、ホース性能の劣化の可能性があります。

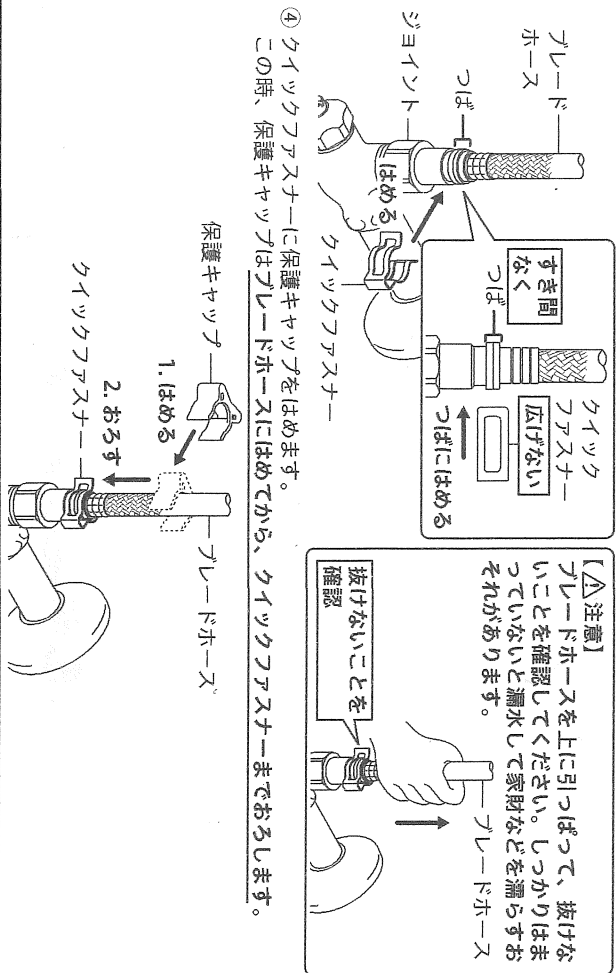
【お願い】 フレードホースは切断しないでください。

A図 B図

6 ページ

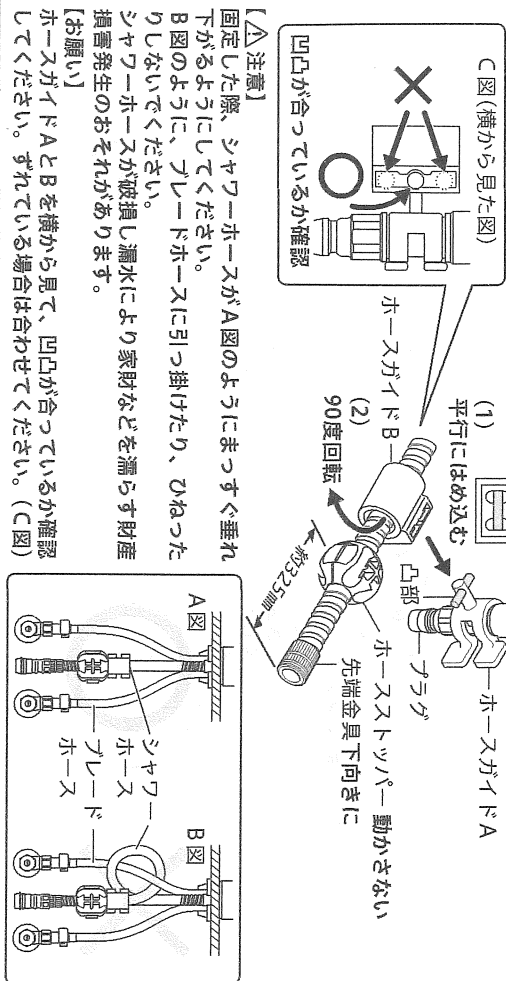
取り付け手順 3

6² ③ クイックフラスナーをフレードホースとジョイントのつばにはめます。



7¹ カプラーユニットの取り付け

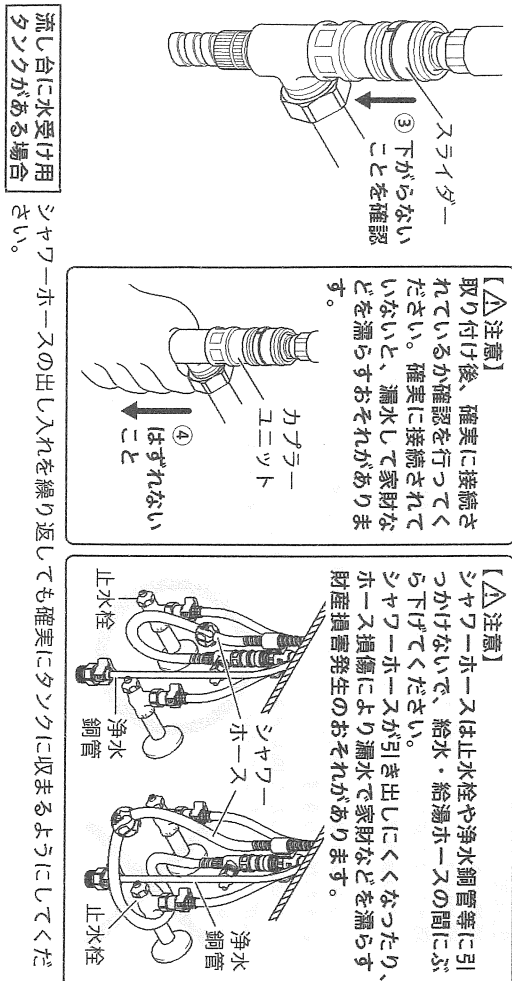
- ① (1) 同梱のホースガイドBをホースガイドAの凸部と平行になるように、ホースガイドAにはめます。
(ホースガイドBはホースに付いています。)
- (2) シャワーホース先端金具が下向きになるように、ホースガイドBを90度回転させます。
- 【お願い】ホースストッパーは出荷時に最大引き出し量300mmの位置についています。
最大引き出し量を変更したい場合は300～320mmの範囲で変更できます。
(最大引き出し量の変更方法参照)



7 ページ

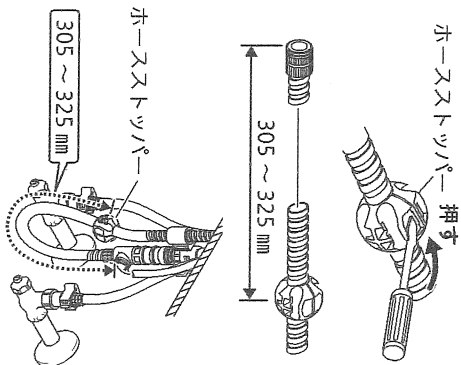
取り付け手順 4

9² ③ カプラーユニットのスライダーが下がらないか確認してください。
④ カプラーユニットを真下にひっぱってはずれないことを確認してください。



最大引き出し量の変更方法

- ① マイナスドライバー等を使用してホースストッパーのツメを押し込んで取りはします。
- ② シャワーホース端面よりホースストッパー中心までの距離305mm(引き出し量320mm)～325mm(出荷時引き出し量300mm)の範囲で取り付けます。
- ③ ホースストッパーが「バチン」というまで押し込んでください。
取り付け後、容易にはずれないことを確認してください。

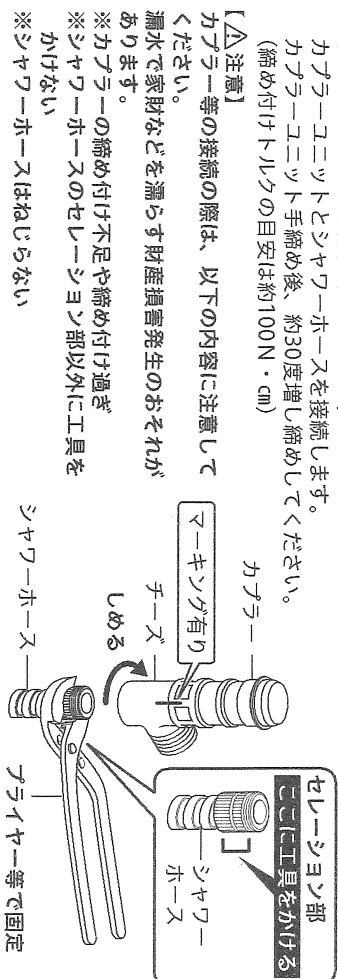


10² 浄水器入口側ホース(別売)との接続

- ① ジョイントに浄水器入口側ホースを接続します。
その際、ジョイントをモンキー等で固定し締め付けてください。
- 【△注意】
接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水の原因となります。

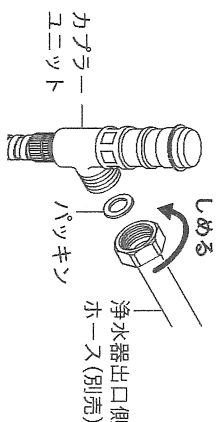
9 ページ

7² ② チーズとカプラーの接続が緩んでいないか確認してください。(確認用の赤色ケーシング有り)
緩んでいる場合はカプラー一手締め後、約30度増し締めしてください。
(締め付けトルクの目安は約100N・cm)



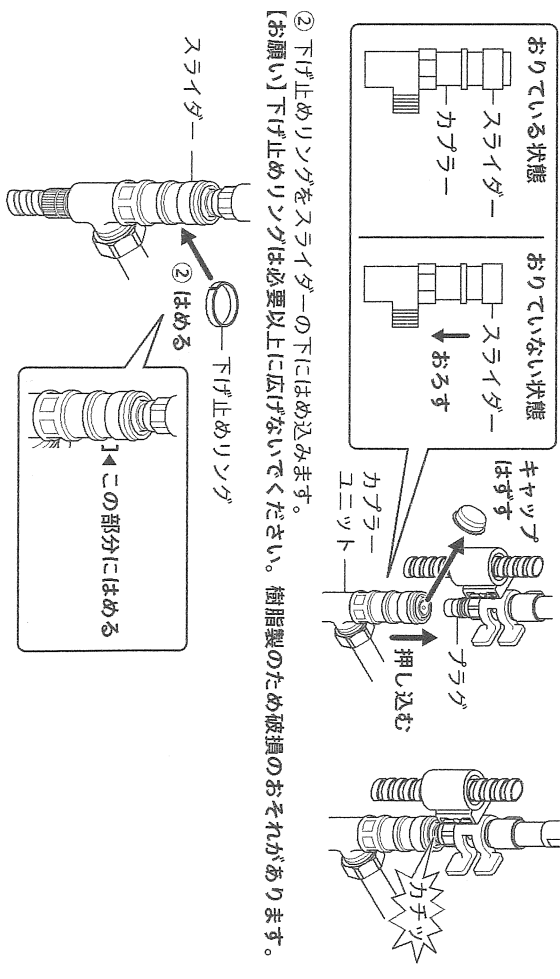
8 浄水器出口側ホース(別売)との接続

- カプラーユニットに浄水器出口側ホースを接続します。
- 【△注意】
接続は適切な工具(モンキー等)で締め付けてください。
締め付けトルクの目安は約1000N・cmです。
締め付け不足や締め付け過ぎますと、漏水のおそれがあります。



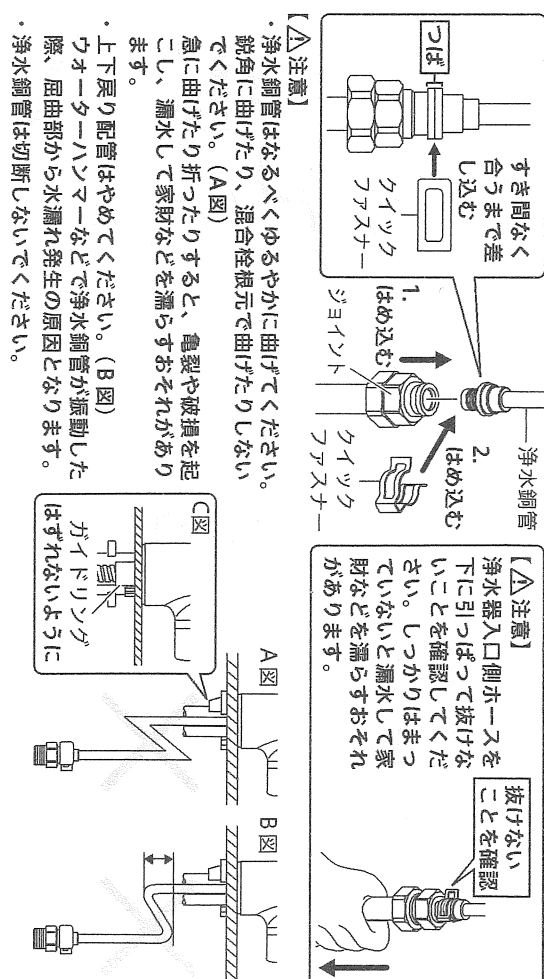
9¹ シャワーホースの接続

- ① カプラーユニットのキャップをはずし、スライダーを下におろしてから、本体のプラグへカチッと音がするまで押し込みます。(スライダーがずれておりいる場合もあります。)

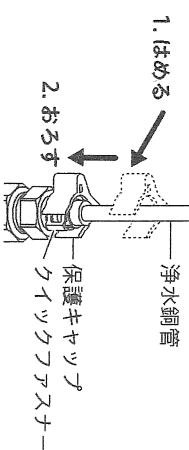


8 ページ

10² ② ジョイントを浄水銅管にはめ込み、クイックフラスナーを浄水銅管とジョイントのつばにはめます。
浄水銅管のつばとジョイントのつばがすき間なく合うまで差し込んでください。
浄水銅管を曲げる際、ガイドリングがはずれないように注意してください。(C図参照)



- ③ クイックフラスナーに保護キャップをはめます。
この時、保護キャップは浄水銅管にはめてから、クイックフラスナーまでおろします。



11 浄水器との接続

浄水器セットの施工説明書を参照してください。

取り付け後の点検と清掃

通水確認

- 【△注意】水栓を取り付け後、通水して漏水の出し止めを5～6回繰り返し、配管接続部および水栓から水漏れがないことを確認してください。
確認しないと、漏水して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

シャワーフェイス・ストレーナ清掃のお願い

シャワーヘッドのシャワーフェイス・ストレーナにゴミ等がたまりますと、吐水量が減ったり、きれいに流れなくなったりしますので、施工後必ず清掃してください。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

湯温・流量調節

混合栓レバーハンドルが正面を向いている位置で湯温、全開吐水で適量になるように、止水弁で調節します。

取扱説明書「日常のお手入れ・保守」参照

10 ページ

404094-01